

# 乱暴と待機 (2010)

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 97分

初公開日 2010/10/09

公開情報 メディアファクトリー=ショウゲート

映倫 PG12

## 【キャッチコピー】

覗いてください。私の本心。

四人の男女の哀しくも可ましい  
ある意味ラブファンタジー

## 【解説】

人気劇団の主宰に加え、作家としても活躍する本谷有希子の同名舞台を「腑抜けども、悲しみの愛を見せろ」に続いて映画化。古びた平屋の集合住宅を舞台に、奇想天外なシチュエーションの下、男女4人の歪んだ愛と欲望が織りなす滑稽にして切ない人間模様が辛辣なブラック・ユーモアとともに濃密なタッチで綴られる。主演は「ヴィヨンの妻」の浅野忠信と「逃亡くそたわけ-21才の夏」の美波、共演に小池栄子、山田孝之。監督は「パビリオン山椒魚」「パンドラの匣」の富永昌敬。

木造の平屋建てが並ぶ市営住宅。そこに暮らす一組の奇妙な男女。黒ぶちメガネにスウェット上下の奈々瀬は、いつも他人の機嫌を気にして愛想笑いを浮かべてはオドオド生きるめんどくさい女。兄でもない同居の男・英則をなぜか“お兄ちゃん”と呼んでいた。一方、その英則は、天井裏に潜んでは奈々瀬を覗き見る行為を繰り返していた。そんなある日、近所に番上と妊娠中の妻、あずさが引っ越してくる。なんとあずさは奈々瀬の高校時代の同級生。しかも、奈々瀬に対して特別の嫌悪と憎しみを抱いていた。そんな番上夫妻の出現で、奈々瀬と英則の異様な関係が少しずつ明らかとなっていくとともに、その関係に微妙な変化が生じ始め…。

## 【クレジット】

監督 富永昌敬

原作 本谷有希子

『乱暴と待機』（メディアファクトリー刊）

脚本 富永昌敬

撮影 月永雄太

美術 安宅紀史

衣装 小林身和子

編集 富永昌敬

音楽 大谷能生

主題歌 相対性理論

『乱暴と待機』（相対性理論と大谷能生）

大谷能生

（相対性理論と大谷能生）

照明 齊藤徹

録音 高田伸也

整音 山本タカアキ

効果 山本タカアキ

出演	浅野忠信	Tadanobu Asano	山根英則
	美波		緒川奈々瀬
	小池栄子		番上あずさ
	山田孝之		番上貴男